

ネットカフェ暮らしの実態調査結果

——各地の聞き取り調査から——

2007年5月20日

全国青年大集会実行委員会

<調査の概要>

4月19日～5月18日まで、全国19都道府県のネットカフェ94店舗に聞き取り調査を行った。店舗から回答や利用者からの情報があつた93店舗のうち、65店舗で長期滞在者がいることがわかつた。

(下表)

調査地点		(※) 調査店舗数	長期滞在のいる店舗数	聞き取り数	利用者からの
北海道	札幌	4	0	0	0
山形	山形	7	2	3	3
宮城	仙台	1	0	10	10
埼玉	大宮駅	2	2	3	3
埼玉	蕨駅	1	1	4	4
埼玉	熊谷駅北口	1	0	0	0
千葉	行徳駅	2	1	3	3
千葉	津田沼駅	1	1	9	9
千葉	松戸	2	1	1	1
千葉	新松戸	3	3	0	0
東京	蒲田駅	5	4	10	10
東京	亀有駅	2	2	2	2
東京	大井町	2	2	1	1
東京	池袋駅東口	5	4	6	6
東京	赤坂	3	3	0	0
東京	新橋	4	2	0	0
東京	清瀬	2	2	0	0
東京	上野駅	2	2	0	0
神奈川	横浜駅西口	4	2	0	0
神奈川	川崎駅	4	3	1	1
神奈川	溝ノ口駅	3	3	2	2
神奈川	綱島駅	1	1	0	0

※未回答の店舗は除く

調査地点		(※) 調査店舗数	長期滞在のいる店舗数	聞き取り数	利用者からの
愛知	名古屋駅	1	1	10	10
愛知	金山	1	1	0	0
愛知	大須	1	1	0	0
石川	金沢	1	1	4	4
三重	四日市	1	1	0	0
奈良	各地	3	1	2	2
滋賀	大津	1	0	5	5
滋賀	草津	4	3	13	13
京都	三条～四条	4	4	0	0
京都	京都駅	1	0	0	0
大阪	住之江区	1	1	18	18
大阪	京橋駅	1	1	5	5
大阪	十三駅	1	1	1	1
兵庫	三宮駅	2	2	0	0
兵庫	JR元町駅	1	0	0	0
岡山	岡山	1	1	1	1
広島	広島	3	2	2	2
福岡	天神	1	1	6	6
福岡	博多	1	1	0	0
熊本	熊本	2	1	0	0
計		93	65	122	122

■調査では122人の利用者から直接、仕事・生活の実態や思いを聞き取つた。

■以下の項で、利用者の声と、店員から寄せられた情報を紹介する。

<利用者からの聞き取り> (家がなく長期滞在しているケース)

●福岡の24歳の青年。1年半前まで2年間、大学に通いながらネットカフェ暮らしをしていた。友だちと同居していたが、個人的な理由で家を出ることになり、住むところがなく、とりあえずネットカフェに泊まったのがきっかけ。

深夜3時までセブンイレブンでバイトをして、ネットカフェで10時まで仮眠をとって大学へいく生活をつづけた。月11～12万円の収入で、お金がないときは野外で寝ることもあった。ネットカフェは閉ざされた空間なので、人と関わろうという気持ちがなくなってしまい、抜け出せなかった。いつもお金のことが不安で、生きていだけで精一杯だったと思う。39度の熱を出したときは、布団で寝られないし、バイトを休んだらお金がなくなるので休めないし、本当に不安だった。そのときは、心の底から世の中を恨む気持ちになったし、「悲惨」という言葉では言いあらわせないほどつらかった。親に相談しようとも考えたけど、長男で弟と妹がいるし、挫折した姿を見せたくなくて、話せなかった。

ネットカフェ暮らしをやっているときは、「仕方がない」と思っていた。いまは、「苦しんでいる人は自分で何とかしなさい」というような社会は変えなければいけないと思う。

●入店しようとしていた男性。最初は「俺なんか話してもしょうがないよ」といっていたが、頼むとグチもふくめてたくさん話してくれた。携帯は持っておらず、派遣会社への連絡も公衆電話でしているとのこと。以前は営業職の正社員として働いていたが、仕事をやめ、その後は新聞配達などいろいろな仕事を転々としてきた。現在は川崎のペットボトル工場で日雇い派遣をしている。12時間2交代。蒲田駅からバスで工場へ送られる。日給は1万円以上。月15日くらい働く。最近肺を悪くして入院。その後日雇い派遣の仕事に戻ったが、今度は腰を痛めて力仕事ができなくなった。今はペットボトルの検査の仕事。明るい光の前で流れるペットボトルを検査。目が疲れる。仕事があるときは蒲田のネットカフェを利用。休みは池袋に来る。「こっちのほうがいろいろあって楽しい。友達の家にも泊まっているが、いつも泊まるのは気が悪いので、ネットカフェを利用する」。お金のあるときは個室ビデオ店。一泊2～3千円だが「足を伸ばして泊まれる」。お金がないときにこうしたネットカフェを利用する。「身分証明書さえあれば、電話すればいつでも仕事はある。おれはがんばりたくないから仕事をしないんだ」と話す。安定した仕事はなかなかないのでは？と聞くと、「実力が評価されない。俺はいろいろな仕事をしっかりこなしてきたつもりだが、学歴とかで変なやつがのさばっている。日本はもうだめだ。将来展望ない。政治家は何もしない」と不信。(東京・池袋、37歳男性)

●「以前勤めていた会社の後輩がネットカフェカフェ暮ら

しをしている」と話す青年。その後輩は20代後半で会社をクビになり、家賃が払えなくなりアパートを追い出された。いまは派遣でガードマンや工事現場などで働いている。最初は友だちの家を点々としていたが、居づらくなって漫画喫茶に寝泊りするようになった。ギャンブルなどを行っているわけでもなく、『何とかお金をためたい』とがんばっているが、一向にお金がたまらないらしいそうだ。男性は「彼がこれからどうやって今の状況を抜け出すのか、想像がつかない。ずっとこういう生活をしていくんですかね。いまの世の中っておかしいですよ」と話していた。(千葉・津田沼駅前、30代男性)

●30代ぐらいの小柄な女性。週5日間ネットカフェに泊まっている。3年前、夫の暴力を苦に、家を出てネットカフェ暮らしをするようになり、このカフェにはこの一年ぐらい宿泊している。週3日のパートと、ときどき夜も仕事をしている。収入は月9万円。ネットカフェには、5時～10時の5時間パックと、10時～朝5時までのナイトパックの約10時間、利用している。この日も、これから仕事にでかけるころだった。服装は上下ジャージでお酒も飲んでた。「こういう生活はつらいですか？」と聞くと、「週末は川崎の安いホテルに泊まっているのでつらくない」と話していた。(東京・蒲田駅前、30代女性)

●この半年間、ほとんど毎日泊まっている。実家は近くにあるが、自立しなければと思うと家にいづらい。でも派遣なのでアパートを借りるほどの収入がない。1年くらい働き続けたら正社員になれると言われていたが不安はある。(東京・蒲田駅前、27歳男性)

●家がなく、2年くらいずっとネットカフェにとまっている。専門学校を出てテレビ局のアシスタントになったが、1日中働かされ、自給にしたら400円ほど。心も体も疲れて退職した。次の仕事を見つけたけど収入が大幅に減り、アパートの契約更新のお金を貯金することができなかつたために、契約更新ができず、家を出ざるを得なかった。いまは深夜にテレビ関係のアルバイトをしている。夕方4時にネットカフェをでて朝まで働き、朝6時にネットカフェに帰ってくる毎日。月収は20万円ほどあるが、仕事が不安定なために、いつ収入がなくなるかわからず、アパートを借りようと思えない。年金や国民健康保険の保険料は未払い。病気になるたら友だちに保険証をかりようかなとおもっている。親に心配させたくないのでも「アパートに住んでいる」。このネットカフェには同じようにずっと住んでいる人が30人くらいはいる。20代から40代の人で、みんな日雇いバイト風の人。(東京・蒲田駅前 24歳男性)

(週に数日間宿泊しているケース)

- ネットカフェに週1~2回泊まる。ほかは友だちの家にいく。一ヶ月前から家がない。仕事をするにも家を決めないといけないけど、借りる時の保証人がいない。父がガンのために働けないから、家を借りることもできない。(千葉、松戸駅前、39歳女性)
- 三重県から派遣で出てきている青年。仕事終わりが遅く帰れなくなったため泊まりに来た。「ネットカフェには月3回くらい泊まる。職場も遠いのでひとり暮らしも考えたいが、給料がもう少しあがらないとキツイ」。(愛知、名古屋駅前)
- 出張でホテルがとれず、泊まりに来たという男性。1日12時間働き、週100時間ぐらいの残業をしているが、残業代は上限40時間しかでない。「仕事量がふえているけど、そのわりに収入があがらない。賃金の面でも、身体的面でも将来が不安」。(埼玉・大宮駅前、24歳男性)
- 飲食店で2年間、正社員として働いており、仕事は朝8時から夜11時までで、帰ると寝る時間がなくなるので週に6日は職場近くのネットカフェに泊り、日曜日だけ家に帰る生活をしている。仕事以外はなににもできない生活をするなかで、以前はお金もけを追求していたけど、いまは当たり前前の生活ができることが幸せなんだと思うようになった。(東京・渋谷、20代男性、)
- 朝9時~夜の11時ぐらいまで仕事。月1回は12時くらいまで。そういうときは、ネットカフェに泊まる。月の給料は40万。こういうことをつづけて体がもつのかどうか。嫁さんや子どもにどんな影響があるのかも心配。(神奈川・川崎駅前、40歳男性)
- 30歳のシステムエンジニア。朝7時から仕事で遅いときは11時ぐらいまで働くという。だいたい週1回ぐらいネットカフェにとまっている。「これだけ働いても、給料は20万ぐらい」と話すので「不満はないですか」と聞くと、「不満はいえませんが、仕事についているだけまだましかな」。(神奈川・溝ノ口駅前、30代男性)

<店舗での聞き取り>

- ◆ それらしい人は来ますよ。このあたりのお店をローテーションしているようで、何日かに一回くる人がいます。(千葉津田沼駅前)
- ◆ いま話題になっていますよね。土日は席が埋まりますね。3年前から定期的に泊まっている人がいます。ああいう人がネットカフェ難民なんですかね。(千葉・松戸駅前)
- ◆ 店に泊まって出勤していく人が5~10人くらいいる。30~40代の男性が多いが、20代も。2年程前には既にいた。シャワーなどに入らず来る人もいて、体臭などが気になる方もいる。(東京、池袋)

- 今日の昼に急に出張を言い渡されて名古屋へ。緊急の宿泊にネットカフェをつかっている。(20代男性、名古屋駅前)
- 居酒屋で契約社員として働いている。朝10時から夜8時まで働いているが、「門限が10時」というの寮のようなところに住んでいて、遅くなる日は(寮に入れないので)週に二日くらいネットカフェに泊まっている。そういう生活が6年間続いている。月収は16万円。(大阪・京橋駅前、33歳男性)
- 労働時間が長くて家に帰る時間がなく、ネットカフェに泊まってまたネットカフェから出勤している。(奈良・JR奈良駅前、30歳男性)
- だいたい週に2回はネットカフェに宿泊している。契約社員で月収15万円。本社は西区だが、早朝から天神(中央区)で仕事がある日があり、そのときは(電車が間に合わないために、前日の夜に)ネットカフェに泊まる。入社以来、こういう生活が続いている。(福岡・天神、21歳男性)
- 「ネットカフェには、週3日ぐらい泊まる。ゲームをしている」という青年。詳しく聞くと、家は、父子家庭で、生活保護をうけており、本人は、中学卒業後、しばらく仕事もしていなかったが、一年ぐらい前から、解体作業の手伝いなどをするようになった。でもその仕事も、週1~2回で、月3万円にしかならない。「家には、ゲームもなく、お父さんもイライラしていることが多くて居づらい」とネットカフェに来ていることがわかった。「将来、このまま、今の家に住み続けられるのか不安」。(埼玉・蕨駅前、24歳男性)
- 半分日給制(1日働くと6000円で、その半分の3000円が即日支給、残りの3000円が月給として支給)で、手取りは月に8万円。仕事もうまくできないし、親にどう言っているのか分からない。家に帰ると「なにしとったんや」と言われる。だからネットカフェによく泊まる。食事は昨日からとっていない。ネットカフェ内のドリンクやスープですましている。(20代男性、奈良・JR奈良駅)

- ◆ 16席あるがほぼ毎日泊まる人が4人いる。30代から50代。長い人は4ヶ月いる。大きなバッグもっている。いま話題になっていますよね。(東京、亀有駅前)
- ◆ 週6日くらい、ほぼ毎日とまっている35歳くらいの人がある。若い人でも、毎日日中にきている人が何人かいる。もしかしたら、夜働いて日中休んでいるのではないかな。(東京、亀有駅前)
- ◆ ネットカフェに寝泊まりする人は3年前くらいから業界では問題になってきていたし、社会問題になるのは遅すぎるくらい。うちの店も、今はいないが昨年夏には3カ月以上滞在

している青年が2人いた。2年くらい前からは、ネットカフェにもいけず、ファミリーレストランでコーヒー一杯で夜を明かす人も出てきた。蒲田のあるお店では、そういう人がふえて営業に支障を来すということで、24時間営業でなく、朝5時から6時の一時間を閉店し、宿泊者を追い出せるようにした相です。(東京 京急蒲田)

◆大きな荷物を持った常連さんは、10人くらいはいます。割引の時間に限らず、割引チケットを活用している方が多いです。(神奈川 横浜西口)

◆ナイトパック8時間で1380円。シャワーあり。宿泊者は常時30~40人くらいいる。そのうち10人前後は若い人。ネットカフェ暮らしも何人かいます。(神奈川 川崎駅前)

◆宿泊者は30代から年配の方が多いが、常連さんも10~20人くらいいる。家が遠くて帰れなくなって、泊まっていくという人も多い。コンビニの牛丼片手に、宿泊バッグを持っている青年もいる。みんな朝6時くらいに出て行く(神奈川 川崎駅前)

◆長期滞在は常連さんで20人くらいはいる。30~40代が多い。自分は働き始めて8カ月だが、ずっと泊まりに来ている人もいる。みんな日雇いの仕事で、日当で生活しているという感じ。(神奈川 川崎駅前)

◆泊まっている人は5、6人いる。20代から50代。女性もいる。11時からゆでたまごが食べ放題でフリードリンクもある。夕方から場所取りの競争になる。みな朝6時くらいにでていく。見た目はふつうの人で、家がない人にはみえないですが。(神奈川 溝の口駅前)

◆「20代で寝泊りしている人がたくさんいます」。中に入っようすを見てみると、大きな荷物を3つももっていた人が出入りするなど、いかにも寝泊りしている人がいた。(愛知県名古屋駅前)

◆ナイトパックの常連はいる。無銭飲食されそうになったことがある。宿泊所代わりに来る方はあまり歓迎したくない。(三重、四日市)

◆長時間滞在する人はいる。年代的な問題ではない。中年男

<その他、利用者から>

●家にパソコンがないので来る。3月まで働いていたが、体をこわしいまは病休。休業保障は出ている。私は普通ですよ。

(しかし、アンケートを書いてもらい話を聞くと、「有給を申告したらとれるようにしてほしい」など、やはり前の仕事は大変だった)。(30代女性、東京・蒲田駅前)

●自分はキャバクラで働いているが、店の女性たちがネットカフェに泊まっている。店が午前3時までなので、電車がなからみんないつも泊まっている。(男性、東京・蒲田駅前)

●自分は泊まることはなく普通に利用している。警備のバイトの前なので時間つぶしにきた。店の中の様子は、泊まっている人がいる。中年男性も結構いる。大きな荷物もって、アイマスクして寝ている。若い人も大きな荷物を持っていて、いかにも泊まりだなと思う。(20歳男性、東京・蒲田駅前)

●泊まりではないが、家にパソコンがないためときどき来る。営業職で、会社からは「残業代は20時までしかださない」

性から若い人まで利用している。ナイトパックを利用し、朝早くに帰るサラリーマンもいる。(奈良 JR奈良駅前)

◆寝泊りしている人はいる。日によって人数は変わってくるが、サラリーマンが多く、スーツ姿の人で、終電がなくなるととまる人もいて、始発で帰っていく。(どれだけ寝泊りしている人がいるか?と聞くと)16席あるが満席になる。(奈良 JR奈良駅前)

◆毎日泊まっている人が5~6人はいる。若い人ではないが。シャワーがないので、トイレで髪を洗っている人がいる。(氏が)

◆常連というか、それらしき人は3、4人います。夜のナイトパックで、ほぼ毎日きます。年齢は20代から30代。サラリーマンもいます。(京都)

◆3人くらいは毎日泊まっている。その3人は年配の方で、40代か50代。その3人以外に、よく泊まるそれっぽい人が毎日10人くらいいる。(京都)

◆長期滞在者はいる。自分の知り合いにもネットカフェ難民のような人がいて、その人は、ネットカフェで働き、ネットカフェで寝泊りしていた。(大阪・京橋駅前)

◆夜泊まる人はだいたい20人くらい。利用者は30代男性が多い。常連がいる。(大阪 住之江区)

◆出張で利用されたり、夜の仕事で帰宅できなくなった人、あと残業をする人などいます。住んでいるという人はいません。(兵庫 JR元町駅前)

◆毎日というわけではないが、ウチの店の割引きデーに大きなカバンをもってくる人がいる。それぞれの店が割引デーをやっているのだから、安いところを狙ってくるのではないかと。(広島)

◆長い人で、1週間泊まって、しばらくいなくなって、また戻ってくるという人が2、3人いる。いくつかのネットカフェを泊まり歩いているんじゃないか。(福岡、博多)

◆深夜パックはいつも10人は泊まっている。週3回泊まる常連がいる。(近くに派遣会社の事務所があり、朝早くから働く人が泊まっているのではないかと) (熊本)

といわれる。それ以降残業しても払われない。タイムカードはなく自己申告だが、結局上司が修正してしまう。(東京・蒲田駅前、30代男性)

●システムエンジニア。非正規は給料が少ない。以前は自分も契約社員で、20時間残業しないと残業代がでなかった。いまは正社員で月給20万円だが。(28歳男性、大阪・京橋駅前)

●ここのネットカフェで働いているけど、今日は利用しにきた。いつも夜は満室で、スーツを着た人が半分で、パソコンを持ち込んで仕事してる人や毎日きている人もいる。ネットカフェの仕事はすごく忙しいし、時給は800円で夜も同じ給料。私自身もバイトなので将来が不安。(大阪・京橋駅前、19歳女性、)

以上